

ハニーズ(2792)



－ 生産のアセアンシフトで国内の競争力が回復 －

ハニーズが5日に発表した2016年5月期の業績は売上高が前期比1.3%減の582億円、営業利益が同30.2%増の28億円となり、売上高は計画を若干下回ったものの、営業利益は計画を大きく上回って着地しました。また、同時に発表した2017年5月期の業績予想は売上高が1.4%減の574億円、営業利益が32.9%増の37億円の計画となっています。

このように大幅増益が続くのは、中国は百貨店での出店が中心で依然として厳しいものの、消費者の低価格指向が一段と強まるなか生産のアセアンシフトによりリーズナブルな価格設定が可能となったことで国内の競争力が回復しているためです。既存店の客数をみると前期の上期が1.3%減とマイナスだったのに対し、商品価格を引き下げた下期は1.6%増と増加に転じ、6月は9.1%増と大きな伸びを示しています。

このように国内既存店の回復がみられるなか、円高で国内の利益率の改善も期待できそうです。ドル円で110円を前提に今期の国内事業の粗利益率は前期比横ばいに設定されています。足元のドル円の水準からみると保守的で上振れる可能性があります。

ご留意いただきたい事項

マネックス証券(以下当社)は、本レポートの内容につきその正確性や完全性について意見を表明し、また保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。当社が有価証券の価格の上昇又は下落について断定的判断を提供することはありません。

本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。また、提供する情報等は作成時現在のものであり、今後予告なしに変更又は削除されることがございます。

当画面でご案内している内容は、当社でお取扱している商品・サービス等に関連する場合がありますが、投資判断の参考となる情報の提供を目的としており、投資勧誘を目的として作成したものではありません。

当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任でなさるようお願いいたします。

本レポートの内容に関する一切の権利は当社にありますので、当社の事前の書面による了解なしに転用・複製・配布することはできません。

当社でお取引いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。お取引いただく各商品等には価格の変動・金利の変動・為替の変動等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込み、損失が生じるおそれがあります。信用取引、先物・オプション取引、外国為替証拠金取引をご利用いただく場合は、所定の保証金・証拠金をあらかじめいただく場合がございます。これらの取引には差し入れた保証金・証拠金(当初元本)を上回る損失が生じるおそれがあります。

なお、各商品毎の手数料等およびリスクなどの重要事項については、「[リスク・手数料などの重要事項に関する説明](#)」をよくお読みいただき、銘柄の選択、投資の最終決定は、ご自身のご判断で行ってください。

マネックス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号
加入協会:日本証券業協会、一般社団法人 金融先物取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会